

# 弾力的な授業時間の設定や時間割に関する取組事例

## 【45分授業と短時間学習の実施】鹿児島県伊佐市立大口東小学校

### 取組の内容

➢対象：5・6年(複式学級)

#### ①45分授業のコマ数増・・・年間24単位時間増

- ・指導者：学級担任と他校の専科教員(他校)とのTT
- ・年間のコマ数を増やすために：  
土曜授業実施(月1回程度)30時間のうち24時間を充当

#### ②短時間学習の実施・・・11単位時間実施

- ・頻度・実施時間：毎週1回(木曜日の朝の活動)  
15分間×33回＝11時間
- ・指導者：学級担任
- ・指導内容：ゲームを通した様々な語句や基本的な表現に慣れ親しむ活動、アルファベットの練習
- ・使用教材：Hi, friends! Plus, 歌のCD, 絵カード等
- ・45分授業との関連：補助的内容の指導や繰り返し学習

※現行年間標準時数35単位時間+時数増分35単位時間＝年間70単位時間

### 成果・効果

- ・1週間の中でのなるべく連続して英語の授業を設定したことで、定着が図られる。
- ・45分授業で扱った活動を、短時間学習で発展・アレンジして行うことで、定着に向けた活動を充実させることができる。
- ・コミュニケーションを図ろうとする態度と表現能力に向上が見られる。



### 課題

- ・短時間学習がゲーム中心になりすぎないように、系統的な計画を更に綿密に作成する必要がある。
- ・短時間学習で行う活動をどのように評価につなげるかを検討する必要がある。

平成28年度 6年生時間割

	月	火	水	木	金	土
朝の活動	算数・計算	英語	英語	英語	英語	英語
1校時	算数	算数	学活	算数	算数	チャレンジ
2校時	国語	英語	体育② 社会②	道徳	家庭科	チャレンジ
3校時	理科	国語	音楽	国語	家庭科② 音楽②	予備
4校時	チャレンジ② 英語②	体育	算数	社会	国語	
5校時	チャレンジ	図工② 音楽②	国語	理科	体育	
6校時		図工	クラブ② 委員会②	理科	社会	

○ 定着の視点から、月・火あるいは火・水と、できる限り英語の授業が連続するような時間割の工夫を行い、木曜日の朝の活動の時間に、授業と関連した内容を取り扱う短時間学習を設定した。

月曜日・・・年10時間分  
火曜日・・・週1回35時間分  
水曜日・・・年14時間分  
木曜日・・・短時間学習週1回  
(15分×33回＝11時間分)

単元計画 45分授業と短時間学習との関連 ( Hi, friends!2 Lesson 4 Turn right. )

	めあて	主な学習活動
1	町の建物の名前を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おはじきゲーム」や「キーワードゲーム」を通して、建物の言い方に慣れ親しむ。</li> <li>・建物の言い方で、日本語と違う表し方を話し合う。</li> <li>・建物の言い方(絵と英語で表記されているもの)を練習する。</li> <li>・Hi, friends Plus の映像教材でアルファベットの練習をした後、ワークシートを使い、書く活動をする。</li> </ul>
短	アルファベットに慣れ親しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CDを使い、アルファベットチャンツをする。</li> </ul>
2	建物の言い方を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ミッシングゲーム」を通して、建物の言い方を練習をする。</li> <li>・建物の英単語をなぞり書きする。</li> </ul>
2	道案内の表現を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道案内のスキットを聞き、表現の仕方を練習する。</li> <li>・「サイモンセズゲーム」を通して、道案内の表現に慣れ親しむ。</li> <li>・アルファベットチャンツの後、ワークシートを使い文字を書く。</li> <li>・Hi, friends Plus の映像教材でアルファベットの練習をした後、ワークシートを使い、書く活動をする。</li> </ul>
3	目的地への行き方を聞いたり、答えたりする言い方を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「サイモンセズゲーム」を通して、道案内の表現に慣れ親しむ。</li> <li>・Hi, friends!2 のLet's chantやLet's listen.をする。(絵カードや写真を見て歌う)</li> <li>・ワークシートを使い、自分の名前の表記を練習する。(ヘボン式)</li> </ul>
短	道案内の表現を練習しよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「サイモンセズゲーム」を通して、道案内の表現を練習する。</li> <li>・パワーポイントに示された地図を使って、道案内をする。</li> <li>・建物の英単語をなぞり書きする。</li> </ul>
4	目的地への行き方を聞いたり、答えたりする言い方に慣れよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Hi, friends!2 P.16.17のアクティビティーをする。</li> <li>・ペアで「道案内ミッションゲーム」を行う。</li> <li>・Hi, friends Plus の映像教材でアルファベットの練習をした後、ワークシートを使い、書く活動をする。</li> </ul>
5	相手のことを考えて目的地への行き方を聞いたり、答えたりしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どこにあるのかな」ゲームをして、道案内を復習する。</li> <li>・黒板に道や建物を絵カードを貼り、友だちを道案内する。(机を使って実際の町を作ったり、伊佐市の地図を使うこともできる)</li> <li>・Hi, friends Plus の映像教材でアルファベットの練習をした後、ワークシートを使い、書く活動をする。</li> </ul>

# 弾力的な授業時間の設定や時間割に関する取組事例

## 【45分授業を年間70コマ実施】奈良県明日香村立明日香小学校

### 取組の内容

- 対象：5・6年生
- 指導者：学級担任とALT
- 年間70コマを確保するための方策：
  - ・標準授業時数980時間に35時間上乘せし、1015時間としている。
  - ・「英語科」(教科型)として行う。
- ◇水曜日6校時目について
  - ・学期に1コマ、委員会活動を行う。(これと別に毎週金曜日6校時終了後、15分間の「ショート委員会活動」を設定。)
  - ・学期に2コマ、クラブ活動を行う。
  - ・委員会活動・クラブ活動のない日は、職員会議・研修を行う。

### 成果・効果

- 指導内容の充実
  - ・発信型学習として、英語を使って明日香村を紹介する学習を年間指導計画に位置付けることができた。
  - ・海外からの訪問客と英語での学習交流を進めることができた。
  - ・45分授業を週2コマ実施することで、児童の思いを大切に、じっくりと活動することができるため、児童のコミュニケーション活動が豊かになった。
  - ・授業を標準化(パターン化)することが可能となり、アルファベットの文字や音に親しむ活動、ライティング、スモールトーク等を効果的に授業に取り入れることができるようになった。



### 課題

- ・35コマは“Hi, friends!”を中心に学習を進めているが、残りの35コマについては独自の学習内容を行っている。教材研究の負担が増えるが、対策のひとつとして、教材を教員間で共有するシステムを構築している。
- ・委員会活動、クラブ活動の時間の確保。

平成28年度5・6年生の時間割表  
(○:授業実施)

	月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○
6	○	○	■	○	○

平成28年度  
6年2組の時間割表

	月	火	水	木	金
1	あ	算	国	図	理
2	国	理	英	図	算
3	算	家	算	算	国
4	社	社	社	体	あ
5	国	音	道	国	体
6	英	国	■	理	学

◇なお、3・4年生は標準授業時数945時間に加え、「英語科」として35時間実施している。

### 単元計画(第6学年)の例

単元目標(Aims of this lesson)

- ・進んで外国の人と話をする。
- ・外国の人に明日香村を紹介する。

時	単元計画(目標)
1	Mayを使って、「～でもいいですか?」と尋ねる表現に慣れ親しむ。
2	明日香村を紹介する表現を知る。 ・どこの国から来たか尋ねることができるようになる。
3	・明日香村を知っているか尋ねることができるようになる。
4	・外国の人の質問に答えることができるようになる。
5	グループで担当を決めて練習をする。
「Let's try.」(広島平和記念公園) 外国の人に明日香村を紹介をする。	
6	ALTに広島について話をする。



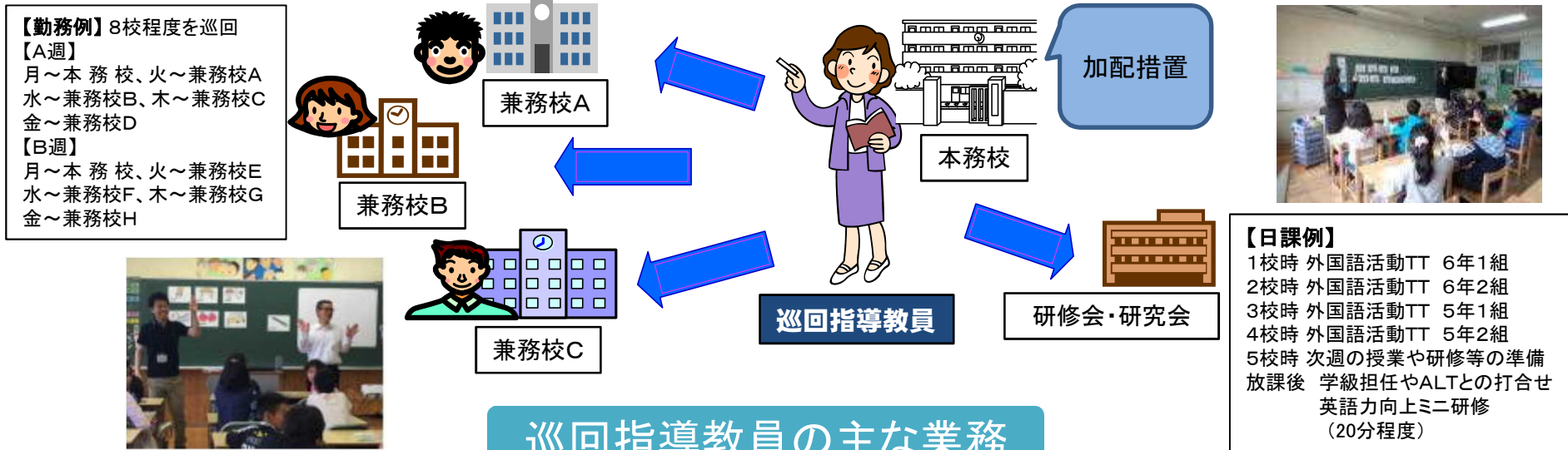
# 「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」 「外国語活動巡回指導教員による小学校教員の指導力向上」～北海道の取組事例～

## 課題

「外国語活動の授業を指導したことがない」「外国語活動の指導に不安がある」小学校教員もいる。  
先進校だけでなく、全小学校・全小学校教員全体の外国語活動の指導力向上が必要。

## 対策

- 「英語教育推進リーダー」を、小学校外国語活動の指導を行う専科教員として加配措置。
- 専科教員を巡回指導教員とし、近隣の他小学校に赴いて授業や研修を実施。



## 巡回指導教員の主な業務

### 【学級担任とのチーム・ティーチング】

- ・T1としての指導の在り方やALTとのかわり方について実践をとおして提示
- ・T2として授業にかかわり、T1の改善点について授業後に助言

### 【模範授業】

- ・巡回指導教員1人による指導またはALT等とのチーム・ティーチングを実施
- ・第5、6学年の学級担任だけでなく、全教員が参観し、教員全体の指導力を向上

### 【授業づくりにかかわる支援】

- ・「Hi, friends!」の活用の仕方について支援
- ・教材の提供やデジタル教材の効果的な活用

### 【研修の実施】

- ・本務校及び兼務校において外国語活動に係る校内研修を実施  
 クラスルームイングリッシュの活用  
 アクティビティ等の効果的な活用 等

### 【各種研修会・研究会での講師】

- ・市町村教育委員会等が主催する研修講座等の講師
- ・市町村の教員全体を対象にした授業公開

### 【その他】

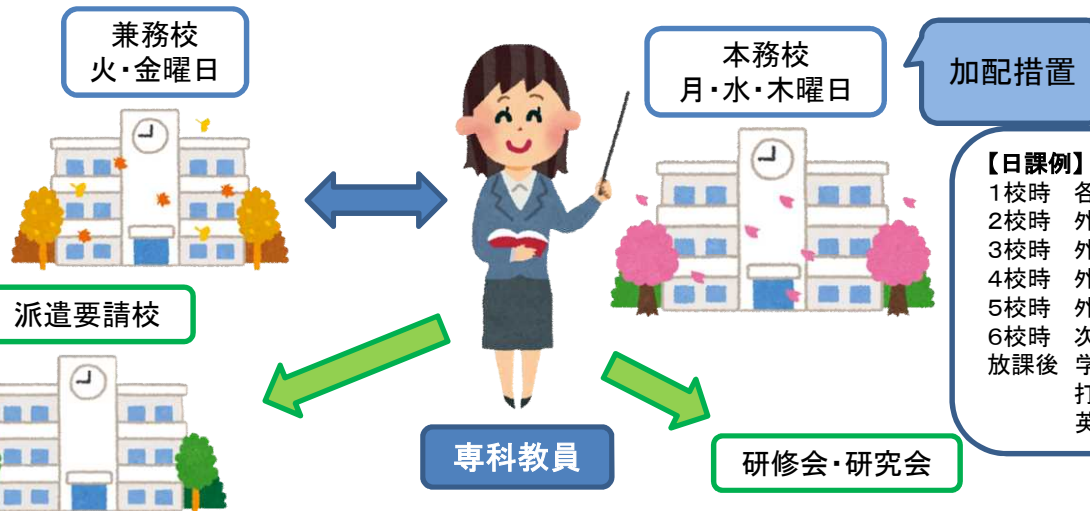
- ・小学校教員の指導力及び英語力の向上に資する研修資料の発行
- ・兼務校における優れた実践を本務校や他の兼務校に普及



# 「英語教育推進リーダー」による専科教員の活用 ～奈良市の取組事例～

## 取組のねらい

- 中学校外国語科教員免許を持つ専科教員が、小学校2校を兼務し、自ら授業を進めるのではなく、各学級担任と共に授業を行ったり、授業後の指導助言を行ったりすること等により、勤務校の全ての教員の指導力向上を図る。
- 勤務校以外の学校で研修講師を行うことで、市内の小学校教育員の授業力向上を目指す。



- 【日課例】**
- 1校時 各学級担任やALTとの打合せ
  - 2校時 外国語科指導TT 5年1組
  - 3校時 外国語科指導TT 4年1組
  - 4校時 外国語科指導TT 3年1組
  - 5校時 外国語科指導TT 6年1組
  - 6校時 次週の授業や研修等の準備
  - 放課後 学級担任と授業の振り返りや打合せ
  - 英語指導力向上研修の実施

## 専科教員の主な業務

### 【授業づくりに関わる支援】

- ・めあて(CAN-DO)の提示や振り返りを行うなど、授業の基本的な流れを教員間で統一する。
- ・短時間学習の指導計画や各種教材を作成する。
- ・デジタル教材の活用を促進する。

### 【学習環境の整備】

- ・ポスターなどの視覚教材を活用した英語教室の環境整備を行う。
- ・廊下や階段に英単語カードを掲示するなど、文字に慣れ親しむ環境を整備する。

### 【学級担任とのチーム・ティーチング】

- ・指導の在り方やALTとの関わり方について、各学級担任に実践を通して指導する。
- ・学級担任が主として行う授業にT2として関わり、授業後に学級担任に対し助言を行う。

### 【研修の実施】

- ・勤務校での2校合同研修を実施する他、市内の各学校で、効果的な指導法やクラスルームイングリッシュ、パフォーマンス評価や評価基準の在り方等についての研修講師を務める。

## 成果

### 小学校教員の英語力・指導力の向上

- ・授業の進め方について、全ての教員で共通理解ができた。
- ・アクティビティ等を、学習のねらいに応じて効果的に活用できるようになった。
- ・評価方法及び評価基準が明確になった。
- ・担任によるスモールトークや絵本の読み聞かせが定着した。
- ・全ての教員が自信をもち、より積極的に外国語の授業に取り組むことができるようになった。

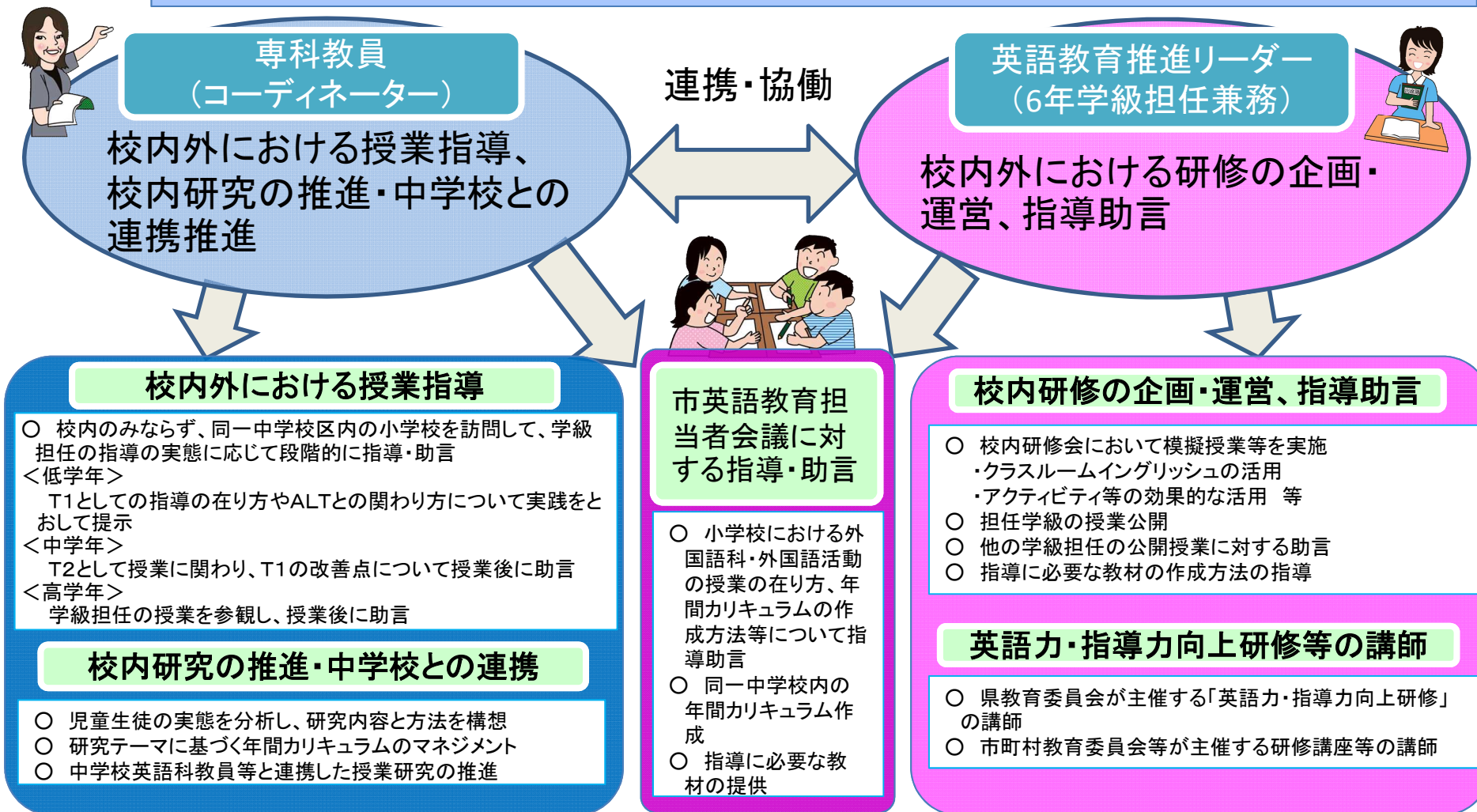
# 「英語教育推進リーダー」及び専科教員による小学校教員の指導力向上 ～福岡県宮若市の取組事例～

## 課題

- ・「外国語活動の指導の経験がない」「外国語活動の指導に不安がある」等の理由から小学校教員のALT中心の授業が行われている。
- ・拠点校だけでなく、市内の全小学校教員の外国語活動の指導力向上が必要である。

## 対策

- 「英語教育推進リーダー」が小学校外国語活動に関する校内外における研修の充実を推進する。
- 専科教員(コーディネーター)が巡回指導教員として、市内の小・中学校に赴いて授業や研究を推進する。



# 「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」 「小学校中核教員による校内研修の推進」～栃木県の取組事例～

## 課題

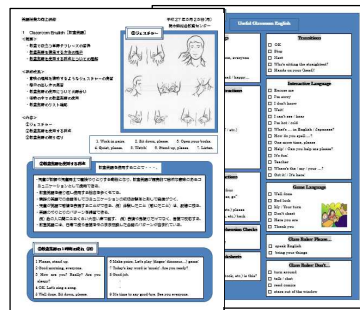
「英語教育推進リーダー」による研修を受けた中核教員が、自校で校内研修を確実に実施するためのサポート体制が必要。

## 対策

- 県教育委員会が、中核教員が校内研修で使用する教材を作成・提供。
- 校内研修の実施方法についてワークショップを開催。
- 校内研修の実施後にレポート提出。

### 校内研修で使用する教材の作成・提供

○県の研修を受講した各学校の中核教員が校内研修を実施する際に、研修内容を他の職員に伝達する上での参考資料として、セッションごとのダイジェスト版(A4版1枚)を作成し、各研修日の終了時に配布した。



### 校内研修の実施後にレポート提出

- 各校における校内研修の終了後、中核教員は、以下の項目(1～4)について校内研修実施報告書を作成し総合教育センターに提出。
- 1 研修日時
  - 2 研修内容
  - 3 成果と課題
  - 4 校内研修を終えてのコメントと感想等

### 校内研修の実施方法についてのワークショップ

- 県の研修の最終日(第3日)に各校における校内研修の持ち方に関する講話を実施し、その後、小グループでのワークショップ形式の演習を行った。
- ワークショップでは、各校での校内研修の持ち方の案として形式・回数等を付箋に記入し、模造紙に貼りながらアイデアを紹介・検討した。



### 成果・効果

- ◎校内研修の実施に向けての具体的なイメージの構築
- ◎校内研修における8セッションの確実な伝達
- ◎研修後の各校での取組等の情報収集

- 中核教員の振り返りより  
「県の研修と校内での伝達や公開授業を通して、以前よりも自信を持って授業を展開できるようになった。今後も、自身の英語力向上のために積極的に教室英語を使用していきたい。」
- 校内研修参加者の声より  
「教師が率先して授業の中で英語を使っていこうとする意識を持つことが大切であると感じた。」「あまり難しく考えずに、できるところから実践していこうと思った。」「学んだことを授業にどのように生かしていくか研修を重ね、指導力の向上につなげていきたい。」



# 「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」 「小学校教員の指導力向上に向けた校内研修」 ～秋田県大仙市立大曲小学校の取組事例～

**課題** 小学校教員の中には、「外国語活動の授業を指導したことがない」「授業で使う教室英語に自信がない」「外国語活動の授業のイメージがつかめない」教員も少なからずいることが課題。

**対策** I. 外国語活動の授業のイメージをもたせるため、全教員参加による校内研修を実施。  
II. 授業やALTとの打合せでよく使う英語表現等をまとめたリーフレットを活用。  
III. 地域の中学校・高等学校との連携、学習交流会等の実施。

## I. 全教員が参加する授業研究会・事前検討会を合計で年間4回実施。

- ・授業研究会（公開授業、研究協議会）及び事前検討会（模擬授業を取り入れた実践型の研修）を、全教員参加で実施。
- ・授業研究会・事前検討会のどちらにも、大学や教育委員会、中学校・高等学校から英語担当者を招聘し、指導法等について具体的な助言をいただく。



大曲小HPより

## III. 地域の中学校・高等学校との連携、学習交流会の実施。

- ・授業研究会・事前検討会に中学校・高等学校の英語担当教員も参加。
- ・中学生とビデオを通じた交流学习。
- ・高校生が小学校を訪問し、外国語活動のサポートを行う（年間6回）。



大曲小HPより

## II. 授業やALTとの打合せで使う英語表現等をまとめたリーフレットを活用。

国際教養大学発行のリーフレット「Quick Reference」  
→授業で使いたい英語表現（①指示・説明、②ほめ言葉、③ALTとのコミュニケーション）を掲載。  
→ALTとの打合せで使用する英語表現を掲載。

**QuickReference**  
As Useful Expressions for Teachers  
Reproduction permitted for non-commercial and educational use only.

Developed by  
Aika International University  
with the support of  
National Center for Teacher Development  
based on QuickList (2003) by Sarah Hays & Vivian Schick

FOR PREPARATION  
準備のために

**A** When you want to start a discussion, go to A.  
ALTと打ち合わせを始める際はAへ

**B** When you want to explain your teaching procedure, go to B.  
ALTに指導手順を説明する場合はBへ

**C** When you want to ask questions, go to C.  
ALTに質問や依頼をしたい場合はCへ

**D** When you want to improve your teaching procedure, go to D.  
ALTと指導手順を協議したい場合はDへ

**A**

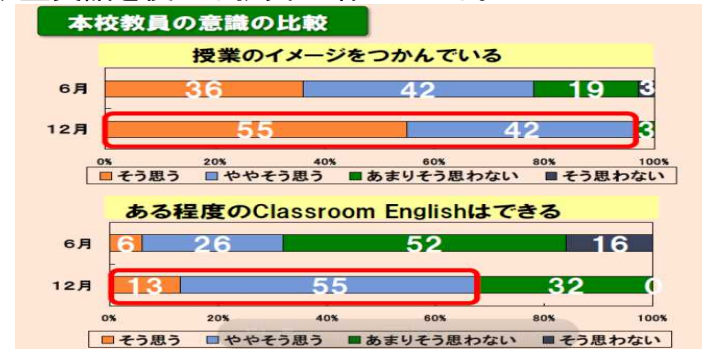
1. Do you have time now?  
いま時間がありますか？
2. Can I talk to you later then?  
ではまだ後で声をかけてもいいですか？
3. When are you available for a meeting today?  
今日いつミーティングできますか？
4. I will be available after three.  
私は3時間後ならあります。
5. I want to [discuss / explain] the class for the fifth graders.  
5年生の授業のことで【相談・説明】したいのですが。

**B**

6. This is my teaching plan (for the fifth graders).  
これは私が考えた（5年生の）指導案です。
7. Let me explain the teaching procedure.  
指導手順を説明させてください。
8. We will use the A/V room today.

## 成果・効果

- ◎教員が、外国語活動の授業のイメージをもつことができた。
- ◎教室英語を使える教員が増えている。



大曲小HPより